

西南学院小学校 学校長メッセージ

「学校通信 Wings 2021年7月号」

キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。

コロサイの信徒への手紙 3章 15節

7月に入り1学期も残り3週間となりました。梅雨が明けるにはまだ間があるようですが、これから日差しも蒸し暑さもいっそう厳しくなってきます。ご家庭でも体調管理に十分気をつけていただきますようお願いいたします。また、毎年お伝えしていることですが、本校は通学が広範囲にわたっているため、天候もそれぞれに違うことがあります。梅雨末期や台風の接近時など、お住まいの地域で風雨が強くなったり、河川や水路が増水したりするなどの危険が予想される場合には決して無理に登校しないようにしてください。

ところで、夏休みが近づいてきましたが、新型コロナウイルス感染症が終息していないなかでは、何かと制限を受けながら過ごさざるを得ないかと思えます。それでも、福岡は、車で走ればすぐに海や山の自然があり、「密」を避けながらいろいろなアクティビティを楽しむことができます。私も、市内や市周辺の里山や田園でウォーキングを楽しんでいます。気軽にに行けることのよさをつくづく感じます。この夏、身近な自然のお気に入りスポットを見つけるのも楽しいかもしれませんね。

さて、昨年度は夏休みが短かったため中止となりましたが、夏休み明けには夏休みの作品展が開かれます。実験や、観察、研究、工作など、毎年様々な作品が展示され、質の高さにも驚かされます。また、コンクールの募集にもたくさんのお子たちが応募し、毎年多くの入賞者を出しています。

自分でテーマや内容を決めて、必要に応じ予想を立て、解決(完成)までの道筋とそのため的手段(方法)を考え、計画的に、ときには試行錯誤しながら、最後まであきらめずに取り組んでいく。そこには、意欲、主体性、思考力、表現力、根気強さ、ていねいさ、達成感、充実感などといった、学習を進めていくうえで必要な能力や態度を育む様々な要素(学力の土台となるもの)が含まれています。植物を育てることにたとえば、即効性の肥料ではなく、土そのものをよいものにしていくようなもので、先々で豊かな実りをもたらしてくれると思います。

こうしたことは、普段はなかなか取り組むことができません。夏休みには、ぜひ何かテーマを決めてじっくり取り組んでほしいと思います。もしかしたら、出合ったことや経験したことが、一生の仕事につながっていくかもしれません。実際、そうしたことはしばしば耳にします。

大人が夢中になって？子どもがおいてけぼりになってしまっただけでは意味がありませんが、子どもだけで取り組むことが難しい場合には、お家の方のサポートが必要でしょう。学年によって関わり方は違いますが、家族と一緒に何かをすることは、そのこと自体が子どもにとって何よりも嬉しいことで、貴重な思い出になるはず。結果として、出来ばえが素晴らしいものになったり、コンクールで入賞したりしたら、それに越したことはありませんが、何よりも大切なのは、取り組みのプロセスで、どれだけのことを考えたり、感じたり、経験したり、乗り越えたりするかです。子どもたちと違って夏休み中もお忙しいとは思いますが、できる範囲でお子様と一緒に楽しみながら応援してあげてください。

文責 宮崎 隆一